

堀田昇一 ほりた しょういち 小説家。明治二十六年二月、二十九年熊本縣生れ（一九

三二）。筆名本田昇。天草中學校卒。坑夫、船員、雜誌記者など。自

本無産派日文藝聯盟を經て日本プロレタリア作家同盟（略稱ナレプ）に

加盟。のち雜誌『人民文庫』同人。昭和十二年本土陸男等と『槐』創

刊、編輯に當る。戦後新日本文學會所屬。

著書『切腹市場』（昭和七年一月、二十七日中外書房）、『東京の一日

』ルポルターシユ』（合著・新日本文學會編、昭和二十一年八月、二十

一日、二興書林）、『自由ヶ丘のルネッサンス』（昭和二十二年二月、二十日

眞善美社）、小説集『平いり環』（中本大 劫子 松田 兼子 合著・新日本文學

支那編、昭和二十五年二月十八日新日本文學會）等。